



# 平成30年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月10日

上場会社名 株式会社 ナカニシ

上場取引所 東

コード番号 7716 URL <http://www.nsk-makanishi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 中西 英一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 横山 治男

TEL 0289-64-3380

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日

平成30年9月26日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	18,900	14.9	5,647	34.0	6,107	28.4	4,359	32.1
29年12月期第2四半期	16,450	5.4	4,213	△9.0	4,754	29.2	3,300	28.6

(注)包括利益 30年12月期第2四半期 3,771百万円 (△0.3%) 29年12月期第2四半期 3,782百万円 (534.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第2四半期	50.32	50.22
29年12月期第2四半期	38.10	38.03

(注)当社は、平成30年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第2四半期	71,903	65,557	90.9
29年12月期	69,505	62,963	90.4

(参考)自己資本 30年12月期第2四半期 65,383百万円 29年12月期 62,811百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	32.00	—	46.00	78.00
30年12月期	—	13.00			
30年12月期(予想)			—	13.00	26.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成30年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。平成29年12月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

## 3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,606	3.7	9,564	1.0	9,902	△4.5	6,908	△5.9	79.75

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成30年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。平成30年12月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年12月期2Q	94,259,400 株	29年12月期	94,259,400 株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

30年12月期2Q	7,614,570 株	29年12月期	7,632,570 株
-----------	-------------	---------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年12月期2Q	86,635,681 株	29年12月期2Q	86,626,830 株
-----------	--------------	-----------	--------------

(注)当社は、平成30年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧米では景気は堅調に推移しているものの、米国現政権の政策による米中貿易摩擦、英国・EU間のBrexit交渉難航等、将来の不確実性が増しております。

一方、国内経済も株価・為替相場の不安定な動向等、景気は先行き不透明感の増す状況となっております。

このような事業環境の中、主に当社グループの主要事業である歯科製品関連事業が大幅な増収（前年同期比15.1%増）となり、売上高については、増収となりました。営業利益については、人件費、新本社R&Dセンター及び新工場A1工場関連費用等が増加したものの、増収及び前年同期に比べて円安ユーロ高だったことから増益となりました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、18,900,695千円（前年同期比14.9%増）、営業利益は、5,647,305千円（前年同期比34.0%増）、経常利益は、6,107,496千円（前年同期比28.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、4,359,190千円（前年同期比32.1%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## (歯科製品関連事業)

歯科製品関連事業の売上高については、北米では前年同期並みとなったものの、国内では40%以上の増収となり、また、欧州及びアジアにおいても堅調に推移し、前年同期に比べて増収となりました。利益面についても、前年同期に比べて増益となりました。

この結果、売上高は、16,269,418千円（前年同期比15.1%増）、セグメント利益は、6,992,450千円（前年同期比25.1%増）となりました。

## (工業製品関連事業)

工業製品関連事業の売上高については、北米では前年同期並みとなったものの、アジア及びヨーロッパでは30%以上の増収となり、また、国内でも堅調に推移し、前年同期に比べて増収となりました。利益面についても、前年同期に比べて増益となりました。

この結果、売上高は、1,938,437千円（前年同期比14.9%増）、セグメント利益は、697,974千円（前年同期比12.3%増）となりました。

## (その他事業)

修理等サービスであるその他事業においては、売上高は、692,840千円（前年同期比9.7%増）、セグメント利益は、80,796千円（前年同期比24.1%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産の残高は、71,903,234千円で、前連結会計年度末に比べ2,397,872千円増加いたしました。主な増加は、建物及び構築物4,047,579千円であります。主な減少は、建設仮勘定2,229,201千円であります。

負債の残高は、6,345,687千円で、前連結会計年度末に比べ195,735千円減少いたしました。主な減少は、その他流動負債718,552千円であります。

純資産の残高は、65,557,546千円で、前連結会計年度末に比べ2,593,607千円増加いたしました。主な増加は、利益剰余金3,138,873千円であります。主な減少は、為替換算調整勘定749,451千円であります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高（以下、「資金」という。）は、19,854,729千円で、前連結会計年度末に比べ974,010千円減少いたしました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、4,960,166千円の収入（前年同期は2,581,622千円の収入）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益6,151,709千円の計上により資金が増加した一方で、法人税等の支払額1,666,628千円により資金を支出したこと等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、4,065,035千円の支出（前年同期は3,660,704千円の支出）となりました。主な支出は、有形固定資産の取得による支出2,650,586千円であります。主な収入は、有価証券の売却及び償還による収入1,000,000千円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,328,840千円の支出（前年同期は865,916千円の支出）となりました。主な支出は、配当金の支払額1,328,858千円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、平成30年2月9日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,826,049	25,614,644
受取手形及び売掛金	5,349,376	5,455,866
有価証券	1,820,309	997,832
金銭の信託	4,117,273	3,985,461
商品及び製品	4,245,449	4,105,955
仕掛品	2,535,339	2,854,434
原材料及び貯蔵品	2,430,830	2,575,173
繰延税金資産	810,340	768,966
その他	1,459,312	1,138,406
貸倒引当金	△111,341	△113,294
流動資産合計	46,482,940	47,383,446
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,914,622	14,962,201
機械装置及び運搬具	4,901,012	5,288,304
工具、器具及び備品	3,942,876	4,168,447
土地	2,100,116	2,009,225
建設仮勘定	2,488,957	259,756
減価償却累計額	△10,024,605	△10,563,017
有形固定資産合計	14,322,979	16,124,918
無形固定資産		
ソフトウェア	249,006	244,118
ソフトウェア仮勘定	52,554	123,380
のれん	43,176	30,840
その他	82,705	79,722
無形固定資産合計	427,443	478,061
投資その他の資産		
投資有価証券	5,490,250	5,521,114
関係会社株式	154,177	135,351
保険積立金	2,186,167	2,112,654
退職給付に係る資産	152	—
繰延税金資産	9,728	3,688
その他	681,038	378,643
貸倒引当金	△249,517	△234,645
投資その他の資産合計	8,271,997	7,916,807
固定資産合計	23,022,420	24,519,787
資産合計	69,505,361	71,903,234

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	844,156	1,225,847
短期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	1,501,521	1,552,239
賞与引当金	341,000	348,000
その他	3,063,962	2,345,410
流動負債合計	5,850,641	5,571,496
固定負債		
退職給付に係る負債	284,112	284,858
繰延税金負債	261,014	340,542
その他	145,653	148,790
固定負債合計	690,781	774,191
負債合計	6,541,422	6,345,687
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	867,948	867,948
資本剰余金	1,163,548	1,171,507
利益剰余金	64,095,058	67,233,931
自己株式	△5,615,636	△5,602,392
株主資本合計	60,510,919	63,670,994
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,439,722	1,600,610
為替換算調整勘定	861,097	111,646
その他の包括利益累計額合計	2,300,820	1,712,256
新株予約権	152,199	172,757
非支配株主持分	—	1,537
純資産合計	62,963,938	65,557,546
負債純資産合計	69,505,361	71,903,234

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
売上高	16,450,498	18,900,695
売上原価	6,581,882	7,518,558
売上総利益	9,868,615	11,382,137
販売費及び一般管理費	5,655,467	5,734,831
営業利益	4,213,148	5,647,305
営業外収益		
受取利息	51,871	82,784
受取配当金	20,895	21,091
金銭の信託運用益	8,212	—
保険解約返戻金	—	68,006
補助金収入	—	135,357
為替差益	399,405	172,330
雑収入	64,367	92,669
営業外収益合計	544,752	572,239
営業外費用		
支払利息	2,328	1,903
金銭の信託運用損	—	41,161
固定資産圧縮損	—	64,000
雑損失	733	4,983
営業外費用合計	3,062	112,049
経常利益	4,754,838	6,107,496
特別利益		
固定資産売却益	817	459
投資有価証券売却益	—	46,500
特別利益合計	817	46,959
特別損失		
固定資産売却損	19	1
固定資産除却損	156	2,744
特別損失合計	176	2,746
税金等調整前四半期純利益	4,755,479	6,151,709
法人税、住民税及び事業税	1,454,479	1,729,391
法人税等調整額	757	62,693
法人税等合計	1,455,236	1,792,085
四半期純利益	3,300,243	4,359,623
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	433
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,300,243	4,359,190

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	3,300,243	4,359,623
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	120,214	160,887
為替換算調整勘定	362,291	△749,451
その他の包括利益合計	482,505	△588,563
四半期包括利益	3,782,748	3,771,060
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,782,748	3,770,905
非支配株主に係る四半期包括利益	—	154



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,755,479	6,151,709
減価償却費	545,217	683,894
のれん償却額	12,336	12,336
貸倒引当金の増減額（△は減少）	1,530	△3,390
賞与引当金の増減額（△は減少）	△3,000	7,000
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△16,763	5,647
受取利息及び受取配当金	△72,766	△103,876
支払利息	2,328	1,903
固定資産除却損	156	2,744
固定資産売却損益（△は益）	△797	△457
投資有価証券売却損益（△は益）	—	△46,500
金銭の信託運用損益（△は益）	△8,212	41,161
補助金収入	—	△135,357
売上債権の増減額（△は増加）	△200,273	△253,380
たな卸資産の増減額（△は増加）	△897,947	△447,346
仕入債務の増減額（△は減少）	333,489	550,415
為替差損益（△は益）	264,103	198,131
その他	△1,374,079	△259,681
小計	3,340,802	6,404,954
利息及び配当金の受取額	70,203	88,384
利息の支払額	△2,363	△1,901
法人税等の支払額	△827,020	△1,666,628
補助金の受取額	—	135,357
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,581,622	4,960,166
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	—	△184,982
有価証券の売却及び償還による収入	300,000	1,000,000
有形固定資産の取得による支出	△3,455,457	△2,650,586
有形固定資産の売却による収入	2,087	939
無形固定資産の取得による支出	△92,680	△93,802
投資有価証券の取得による支出	△326,498	—
投資有価証券の売却及び償還による収入	100	98,620
非連結子会社株式の取得による支出	△60,428	—
定期預金の預入による支出	△3,870,143	△8,351,969
定期預金の払戻による収入	5,658,553	6,029,258
保険積立金の積立による支出	△6,741	△18,897
保険積立金の解約による収入	—	88,874
金銭の信託の取得による支出	△1,834,200	—
その他	24,705	17,510
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,660,704	△4,065,035
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△865,916	△1,328,858
新株予約権の行使による収入	—	18
財務活動によるキャッシュ・フロー	△865,916	△1,328,840
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,568	△540,300
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,938,429	△974,010
現金及び現金同等物の期首残高	20,741,778	20,765,782
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	6,582	62,956
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,809,931	19,854,729

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度において非連結子会社であったNSK NAKANISHI AMERICA LATINA LTDA. は、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間（自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	歯科製品関連	工業製品関連	その他	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,132,018	1,686,803	631,676	16,450,498	—	16,450,498
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	14,132,018	1,686,803	631,676	16,450,498	—	16,450,498
セグメント利益	5,590,019	621,749	106,495	6,318,264	△2,105,116	4,213,148

- (注) 1.セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。  
2.セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間（自 平成30年1月1日 至 平成30年6月30日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	歯科製品関連	工業製品関連	その他	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,269,418	1,938,437	692,840	18,900,695	—	18,900,695
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	16,269,418	1,938,437	692,840	18,900,695	—	18,900,695
セグメント利益	6,992,450	697,974	80,796	7,771,220	△2,123,915	5,647,305

- (注) 1.セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。  
2.セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。